

大雨・台風シーズン到来!!

雨の降り方や雨量に注意し、

風水害に備えましょう!!

近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる短時間で局地的な大雨が全国で発生しています。風水害はまだ大丈夫と思っていても、急激に状況が変化する場合があります。大雨や長雨などで危険を感じたら、早めに避難するようにしましょう。

特に1時間に20ミリ以上、連続して100ミリ以上の大雨が降った場合などは、十分な警戒が必要です。身近な情報源としてテレビやラジオの気象情報に注意してください。

また、日頃から風水害に備え、家の周りの点検もしておきましょう。

風水害から避難するための注意点

動きやすく 安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護します。はだしや長ぐつではなく、ひもでしめられる運動ぐつをはきましょう。



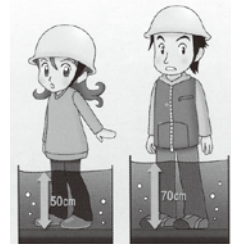
足元に注意

水面下にはマンホールや側溝などの危険があり、長い棒をつえ代わりについて確認しながら歩きます。



深さに注意

歩行可能な水深は、一般的に男性で70センチ、女性で50センチ。水の流が速ければ、もっと浅くても要注意です。



災害時要援護者の安全の確保



高齢者や傷病者らは背中に背負い、子どもには浮き袋をつけさせます。

隣近所で声を掛け合い、集団で避難する



単独行動はしないで、はぐれないようにお互いの体をロープで結びます。

正しい情報をキャッチする



広報車・緊急車両・サイレンなどで伝達します

災害時には、うわさなどに振り回されることがあります。ラジオやテレビの報道、防災関係機関(市役所・消防署・警察署など)からの防災情報に十分注意し、正しい情報をキャッチしましょう。